

第 14 回河北潟クリーン作戦実施報告書

平成 20 年 4 月 16 日
河北潟自然再生協議会

1. 実施状況

実施日時 平成 20 年 4 月 13 日（日）午前 9：00～10：00

参加人数 約 850 名

主催 河北潟自然再生協議会

協力 河北潟環境対策期成同盟会 河北潟水質浄化連絡協議会

後援 石川県県央土木総合事務所 河北潟沿岸土地改良区 河北潟干拓土地改良区
グリーン・アース河北潟

河北潟湖岸の 8 ヶ所においてゴミ拾いを実施した。実施にあたっては、参加団体ごとにあらかじめ参加者名簿を作成するとともに、6 箇所に受付を設け当日の参加者を把握した。各受付地点での業務は、河北潟自然再生協議会および協力・後援の各団体によりおこなった。ゴミは指定した集積場所に集められ、各市町により回収・処理された。

あわせて関連行事として、「潟端アサザビオトープの整備作業」、水辺の植物を保護するための消波堤を設置する「湖岸のグリーン作戦」をおこなった。

2. 収集したゴミ

河北潟自然再生協議会の集計による各地点のゴミの収集量と内容は以下のとおり。

地点	参加者人数	ゴミ量(m ³)	特記事項
金沢市(才田)	400	23.3	タイヤ60個など、粗大ゴミの不法投棄。
金沢市(競馬場裏)	100	5.0	プラスチックゴミ(ペットボトルなど)が多い。
内灘町	200	16.5	ポイ捨て(空き缶類、ペットボトル)が目立つ。
津幡町	60	8.4	農業ゴミ、ビニールシート、発泡スチロールが目立つ。
かほく市	90	11.0	布団、畳、、消化器、テント、傘など。
合計	850	64.1	

全体でタイヤ 80 個が回収され、悪質な不法投棄の中では際だっていた一方、テレビ等の家電ゴミはわずかで、前年と比較して目立って減少した。ポイ捨てと思われる単体のペットボトルや空き缶や、ゴミ袋でまとめて棄ててあるペットボトルや弁当箱など、レジャーに伴って発生するゴミの投棄は相変わらず多かった。水際にはペットボトルや発泡スチロ

ールなど浮く素材のゴミが例年どおり目立った。

地点別では、才田で産業系を含む大型の不法投棄、競馬場裏で浮遊するゴミと家庭から出た容器ゴミ等、津幡町で農業系のゴミ、かほく市で家庭から出る大型ゴミが目立った。内灘ではポイ捨てゴミは多かったが、とくに悪質なゴミは少なかった。

3. その他

競馬場裏及び津幡地区で参加者が怪我をし、それぞれ病院で治療を受けた。参加が増え、事故がやや頻繁に発生するようになっており、今後、人員の配置等を含めた安全管理が、重要な課題となっている。

今回、事故の起こった地点は、過去に事故が起こっている地点と重なっている。競馬場裏は危険なゴミが多く、ゴミの多く溜まる場所の足場が悪いことから、事故が起こりやすいものと思われる。津幡地区は、安全管理および受付や監視等の体制が不十分であったことが、事故に繋がった可能性がある。



No. 01

クリーン作戦
金沢地区



No. 02

クリーン作戦
内灘地区



No. 03

クリーン作戦
津幡地区



No. 04

クリーン作戦
かほく地区



No. 05

ゴミ収集状況
(八田集積場)



No. 06

ゴミ収集状況
(才田集積場)



No. 07

ゴミ収集状況
(内灘集積場)



No. 08

ゴミ収集状況
(津幡集積場)



No. 09

ゴミ収集状況
(かほく集積場)



No. 10

アサザビオトープの
整備作業



No. 11

グリーン作戦実施状
況



No. 12

グリーン作戦実施状
況